

ボーダフォンがオーストラリアで商用 NB-IoT サービスの提供を開始

当初は豪州メルボルンのビジネス中心区域（CBD）とその周辺地域で運用を開始

ボーダフォンオーストラリアは、本日、オーストラリアではテレコム企業としては初となる商用 NB-IoT サービスを実現する、新たなレベルの NB-IoT ネットワークの提供開始を発表しました。

NB-IoT は、低電力広域ネットワーク（LPWA）テクノロジーの 1 つです。狭帯域に対応した数百万台のデバイスが無線接続できるよう設計されています。

ボーダフォンの NB-IoT ネットワークは、ビクトリア州モーニンントン半島のフランクストン周辺と、ボーダフォンのオフィスがあるポートメルボルンおよびノースシドニーでサービスが開始されています。また 11 月中には、メルボルンのビジネス中心区域および周辺市街地にまでサービス範囲を拡大する予定となっています。さらに 12 月中には、オーストラリアの他地域への展開に先立ち、NB-IoT ネットワークをシドニーおよびキャンベラの一部の地域にも拡大する予定です。

ボーダフォンのエンタープライズ担当エグゼクティブジェネラルマネージャーである Stuart Kelly は、ボーダフォンの NB-IoT テクノロジーによって、これまでは経済的に適用することが困難だった領域に対しても、新たにマシン・ツー・マシンの通信接続を提供できるようになったと述べています。

「NB-IoT は、1 回の充電で 10 年以上バッテリーが稼動し続ける優れた消費電力効率など、幅広いメリットをお客様に提供することができます。つまり、バッテリーの調達や交換に関わるハードウェアやリソースへの投資が少なく済むということです。この結果、アセットの寿命を延ばし、デバイスが使用されている期間に現場を訪問する必要性を低減することができます」

メルボルンのビジネス中心区域におけるテストの結果、既存の 2G、3G、4G のテクノロジーよりも、電波の到達範囲や強度という点で、NB-IoT のカバー範囲の方がさらに広く、二重三重構造のレンガの壁を通過し、地下駐車場や地下室にある対象との間でも通信接続を確保できることが明らかになりました。また、メルボルンの周辺市街地でテストした結果では、カバレッジは 30km にも及ぶことが分かりました。

NB-IoT ネットワークの開始に先立ち、ボーダフォンでは、自社のネットワークのサイトの約半数をアップグレードすると共に、無線アクセスネットワークとコアネットワークを構成するソフトウェアのアップグレードも実施しました。さらに、NB-IoT サービスと自社のグローバル IoT 通信監理プラットフォームの統合化も行っています。

ボーダフォンでは、2017 年末までに 2 社の新たな顧客と試験運用を開始する予定です。Metasphere 社は、企業のネットワークやアセットの管理を支援するテレメトリおよび管理ソリューションを世界展開している企業です。

またボーダフォンは、食品産業のクリティカルコントロールポイント（CCP）管理システムを専門とする ASX の上場企業 CCP Technologies 社とも協業しています。制御冷凍環境の温度などのデータを収集する CCP 社のスマート IoT センサーは、高度なビジネスインテリジェンスの提供や警告通知、規制対応の検証や報告のための基礎となっています。



ボーダフォンの Stuart Kelly は次のように述べています。「オーストラリアでボーダフォンの NB-IoT ネットワークの試験運用を実施し、NB-IoT サービスがビジネスにもたらすメリットを証明するために、Metasphere および CCP 両社との協業できることを大変嬉しく思っています」

Metasphere Australia のコマーシャルディレクター Paul Hart 氏は、今回の協業によって同社のオーストラリアにおける存在感がますます高まることになると強調しています。

「当社は、革新的な新しい方法でクライアントに信頼性の高いサービスを提供できるものと期待しています。ボーダフォンオーストラリアと協業する形で、地元の NB-IoT ネットワーク試験運用に参加できることを楽しみにしています」

CCP の CEO、Michael White 氏は同社の革新的な歩みをさらに加速できることに期待しています。

「当社コネクティビティ製品に NB-IoT を追加できることは、非常に大きな前進と言えるでしょう。ボーダフォンは NB-IoT で既に優れた実績を上げており、共に試験運用に参加できることを楽しみにしています」

またボーダフォンの Stuart Kelly は、NB-IoT 互換デバイスの製造業者との会話を通じて、オーストラリアでの IoT エコシステムが急速に発展していると述べています。

「多くのキャリア、ベンダー、そして電力会社や様々な企業がこの新しい方式でデバイスを接続し、そのメリットを享受しはじめたことで、オーストラリアではこれから数年、NB-IoT を使った様々な製品やサービス、アプリケーションが多数登場してくると思われます。これが社会をさらにスマートで効率的なものに変え、ビジネスに限らず、特に一般社会に対して多大な恩恵を与えていくと考えます」

「ボーダフォンでは、オーストラリアがよりスマートでコネクテッドな国となるために、NB-IoT が重要な役割を果たすものと期待しています」

NB-IoT テクノロジーの主なメリット：

- デバイスが地下や建物の奥に存在する場合でも広範囲をカバーすることが可能
- 1 回のバッテリー充電で 10 年以上デバイスの稼働が可能になるなど、優れた消費電力効率を持つ
- 1 つのセルから大規模な数のデバイスをサポート
- 低コストの通信ハードウェアによって、ユーザーデバイスを現在よりも低価格で製造可能
- ボーダフォンの NB-IoT は認可済み電波スペクトルを使って運用されるため、サービス品質を保証
- NB-IoT は、IoT 通信で重要となるモバイルネットワークの強力なセキュリティ機能を持つ、3GPP ベースのテクノロジーをベースに

※本リリースは、Vodafone Australia が 2017 年 10 月 11 日に発表したプレスリリースの抄訳です。

本発表のソースは、こちらからご覧いただけます：

<https://www.vodafone.com.au/media/vodafone-launches-commercial-nb-iot-services>